

# ダムの風だより



国土交通省 大町ダム

”大町ダム管理所”の近況をお知らせする広報誌です！

## ～ 令和5年を振り返って ～

大町ダムは洪水調節を主目的としたダムです。出水期(6月～9月)において、大規模な出水に対しては、流入水を一時的に貯めるため貯水容量を空けて大規模出水に備えています。今年は洪水量(毎秒200ℓ)を超過する出水もなく、洪水調節を行うことはありませんでした。

令和5年最も大きな出水は、5月7日～8日に発生した低気圧や前線の影響による出水で、最大流入量(ダムに入ってくる水量)が毎秒約180ℓでした。

また、令和5年の8、9月は降雨量が例年に比べて非常に少なく、流入量が供給量を下回ったため、供給量を補うために大町ダム貯留水を下流河川に補給し続けた結果、過去最低水位であった平成6年9月16日「標高864.3m」を令和5年9月21日に「標高863.5m」に更新しました。その後関係機関協議を行い放流量の調整及び降雨により令和5年12月26日時点では標高894.7mまで回復しました。

なお、今回の出水は出水期外の5月となりましたが、ダム職員はどのタイミングで大雨が降っても対応できるよう、設備の点検、関係機関協議等を行い、洪水に備えております。今回はその中でも特に重要な「点検」について紹介したいと思います。

## ～ ダムの点検について ～

大町ダムでは、下流の安全・安心と安定した水を供給するために、施設の点検・整備を行っています。ダムの点検には大きく分けて以下の3つがあります。

### 1. 日常点検(月に1回、1日に1回実施)

異常発生 of 兆候を察知するため、定期的に巡視、計測データ等の異常値がないか日々確認を行っています。

### 2. 定期検査(3年に1回実施)

施設・設備の状況やダム管理状況について、北陸地方整備局の担当者が検査を行っています。

### 3. 総合点検(30年に1回実施)[直近では平成28年度に実施]

長期的な経年劣化の状況や内部の状態等に着目し、ダムが健全な状態に保たれているかを調査します。調査の結果に基づき、ダムの維持管理方針を策定します。

なお、点検で異常が確認された場合は速やかに対応し、操作に異常が生じない状態を保っています。



日常点検  
(計測データの確認)



定期検査  
(放流ゲート点検)



総合点検  
(ダム本体のコアリング)

## 「高瀬溪谷 秋の3ダムめぐり」を開催しました！

令和5年10月28日に開催した高瀬溪谷秋の3ダムめぐりに、41名の方にご参加いただきました。高瀬溪谷の紅葉を楽しんでいただき、大町ダム、七倉ダム、高瀬ダムについて理解を深めていただきました。

参加された方からは、「紅葉がきれいだった」、「ダムについて理解が深まった」などの感想が寄せられ、高瀬溪谷の紅葉や普段は見るできないダムの迫力を満喫していただきました。



大町ダム



七倉ダム



高瀬ダム

## 2024年カレンダーがダウンロード可能です！

毎年、恒例となっている大町ダムオリジナルカレンダー2024年版をホームページでダウンロード出来るようになりました。令和5年の大町ダム周辺で撮影された写真が掲載されており、他では手に入らない限定カレンダーとなっています。

この機会に是非、ダウンロードしていただけたらと思います。

### [カレンダーサンプル]



### ★ダウンロード用URL

<https://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/info/karenda/index2023.html>

## 大町ダム管理所ホームページをリニューアルします！

閲覧者の方々が情報をより閲覧しやすいように大町ダム管理所ではホームページのリニューアルを予定しております。



洪水から地域の人々の生命や財産を守り、ふるさとの大切な水資源を活かすことが大町ダムの使命です。ダムに関するご意見やご要望もお待ちしています。

国土交通省 北陸地方整備局 大町ダム管理所

〒398-0001 長野県大町市平字ナロヲ大クボ2112-71  
TEL. 0261-22-4511(代) FAX. 0261-22-4512 <http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/>